

立命館大学シンポジウム
高機能自閉症児および
アスペルガー症候群児の早期発見と早期対応

日 時:2006年12月9日(土) 10:00~17:00

会 場:立命館大学 衣笠キャンパス 以学館1号ホール

主 催:立命館大学人間科学研究所

参 加 費:無料(予約制)

※下記ホームページ上の予約フォームにてお申込み頂きますようお願い申し上げます。

午前の部 (10:00~12:00) : 基調講演「自閉症およびアスペルガー症候群の早期発見と早期対応の現状」

挨拶 望月 昭(立命館大学人間科学研究所所長・同学文学部教授)

基調講演 1 : 自閉症およびアスペルガー症候群の早期発見の研究動向と課題

神尾 陽子(国立精神・神経センター精神保健研究所 児童・思春期精神保健部部長)

基調講演 2 : 自閉症およびアスペルガー症候群の早期対応の研究動向と課題

伊藤 良子(東京学芸大学教育実践研究支援センター 生涯発達支援部教授)

午後の部 (13:00~17:00) : シンポジウム「早期対応と発達の可能性」

コーディネーター: 荒木穂積(立命館大学産業社会学部・同大学院応用人間科学研究科教授)

報告 1 : 作業療法支援—早期発見から早期対応へ

加藤 寿宏(京都大学医学部保健学科講師)

報告 2 : 大津市の実践から—早期発見から早期対応へ

中村 隆一(立命館大学大学院応用人間科学研究科教授/大津市やまびこ総合支援センター発達相談員)

報告 3 : ABA(応用行動分析)による早期対応プログラム

谷 晋二(大阪人間科学大学助教授)

報告 4 : 遊びに着目した早期対応プログラムの開発の試み

荒木 穂積(立命館大学産業社会学部・同学大学院応用人間科学研究科教授)

指定討論: 望月 昭(立命館大学人間科学研究所所長・同学文学部教授)

石坂 好樹(京都桂病院精神科部長)

お問合せ先: 立命館大学人間科学研究所

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL: 075-465-8358 FAX: 075-465-8245

E-mail: ningen@st.ritsumeit.ac.jp (担当: 野村)

URL: http://www.ritsumeit.ac.jp/acd/re/k-rsc/hs/hs_index.htm

このシンポジウムは、文部科学省私立大学学術高度化推進事業オープンリサーチセンター整備事業「臨床人間科学の構築—対人援助のための人間環境研究」の研究発表の一環として実施されています。